

平成 26 年（2014 年）の硫黄島火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 発表中の火山現象に関する警報等

平成 19 年 12 月 1 日 10 時 20 分	噴火予報（平常）
----------------------------	----------

○ 2014 年の活動概況

・ 噴気等表面現象の状況（図 1 ～ 4）

1 月、4 月、9 月、11 月に気象庁地球環境・海洋部が実施した海上からの観測、5 月に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口で、従来より認められている少量の噴気が確認されましたが、その状況に特段の変化は認められません。



図 1 硫黄島 火口の位置
赤枠は図 4 の撮影範囲を示す

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。この資料は第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。また、同院発行の『25000 分の 1 地形図』の複製したものを使用しています（承認番号：平 26 情複、第 658 号）。

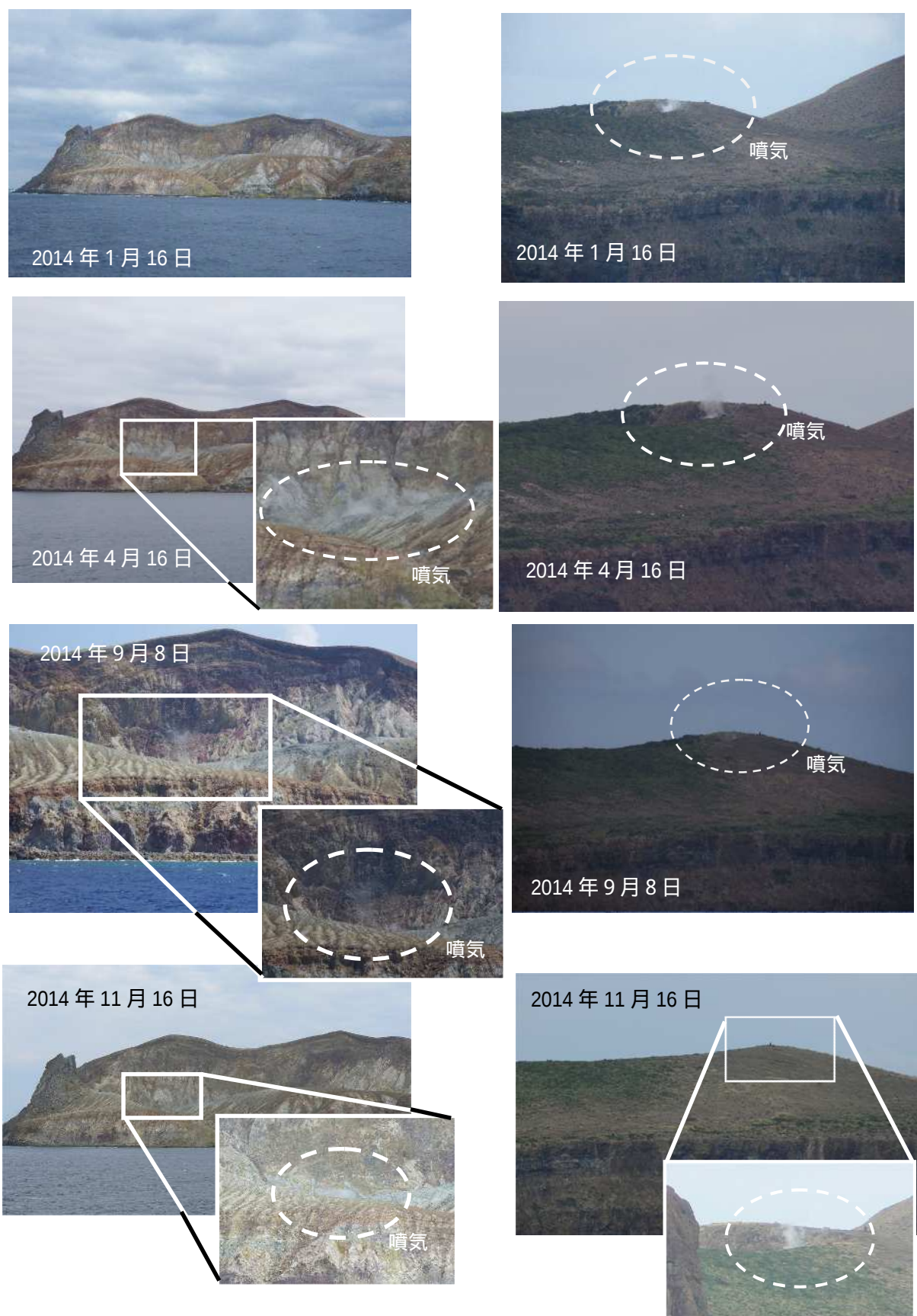


図2 硫黄島島 硫黄岳火口の状況（火口南西側から撮影）

左：硫黄岳火口（南西側から撮影） 右：グスク火山火口（東側から撮影）

上から1月16日の観測（気象庁地球環境・海洋部） 4月16日の観測（気象庁地球環境・海洋部）

9月8日の観測（気象庁地球環境・海洋部） 11月16日の観測（沖縄気象台、気象庁地球環境・海洋部）



図 3 硫黄島 硫黄岳火口の状況（火口南西側から撮影）
5 月 26 日の観測（第十一管区海上保安本部提供）

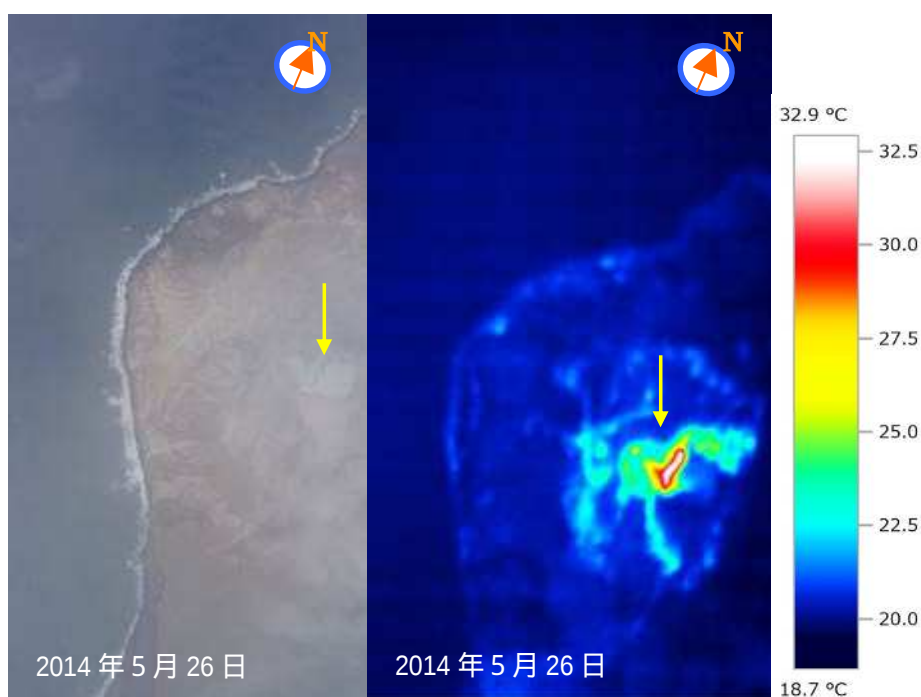


図 4 硫黄岳火口の地表面温度分布^{注)}（火口直上から撮影）
5 月 26 日の観測（第十一管区海上保安本部提供）

注) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

